




針原地区 社会福祉協議会の状況

令和4年8月現在

設立年月 H17年4月1日

	東狐 幸夫		副会長	藤井健一、中川正喜、上野武志	
事務局所在地	地区センター内 公民館内 ・ その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局TEL	076-451-2555	事務局FAX	076-452-9061	事務担当	堀 謙治
人口	4,113 人	世帯数	1,780 世帯	高齢化率	32.80 %
当年度予算額	1,864,000 円	年間会費(1世帯)	0 円		
主な活動等	<p>1. ケアネット活動（随時）</p> <p>(1) 見守り活動 民生委員を中心として、一人暮らしの高齢者に対して近所の人達と協力して見守り活動を実施している。新任の町内会長に対して趣旨を説明し、新規募集を呼びかけ支援体制を築いている。</p> <p>(2) 福祉マップ 各町内会長に対して、福祉マップの加筆訂正を依頼し、福祉マップの更新を行い、援助を必要としている人達を確実に把握している。</p> <p>(3) 命のバトン 現在、20町内370名が利用しており、新規参加者募集及び緊急連絡カードの更新を回覧にて依頼し、新規参加者にバトンを渡すとともに、利用者を把握している。</p> <p>2. 生活支援（配食）サービス（年2回） いきいきクラブ活動の啓発活動として、現在59名の方が参加しています。いきいき会食会は、コロナウイルス感染防止のため中止しているが、配食サービスを年2回実施して要援護者との交流を図っている。 また、今年は針原地区安全なまちづくり推進協議会の取組「カギかけ運動」に協力し無施錠による盗難被害防止に少しでも役立つよう、啓発支援資材のポケットティッシュを同時に配布した。</p> <p>3. ふれあい朝市（週1回） 6月8日(水)から12月頃まで毎週水曜日に、「ふれあい朝市」を針原新町公民館で地元の方々が作った新鮮な野菜等を販売するとともに、地域住民との交流を行っている。</p> <p>4. 広報誌の作成（年1回） 針原地区で活動した内容や社協関係者の苦労話や喜びの声を全戸配布している。</p>				
					
	<配食>		<ふれあい朝市>		<ふれあい朝市>
会長のメッセージ	<p>針原地区は、高齢化率が高く且つ在宅ひとり暮らしの高齢者（特に市営住宅在住者）が多いため、日常の見守りが不可欠である。当地区では、ケアネット（見守り）、福祉マップ、命のバトン、生活支援、敬老の集い、健康ふれあいまつり等の行事活動を実施している。しかし、現状は新型コロナウイルス禍により活動を厳しく制限されており、早期終息を願いながら1日でも早く再開できることを待ち望んでいます。</p>				